

平成21年 5月 28日現在

研究種目：特定領域研究

研究期間：2006～2010

課題番号：18061008

研究課題名（和文）言語政策に役立つ、コーパスを用いた語彙表・漢字表等の作成と活用

研究課題名（英文）Application of Large-scale Balanced Corpora to Language Planning and Education: Through the Compilation of Word Lists and Kanji Character Lists of Contemporary Japanese

研究代表者

田中 牧郎（TANAKA MAKIRO）

独立行政法人国立国語研究所・研究開発部門・グループ長

研究者番号：90217076

研究分野：日本語学

科研費の分科・細目：日本語学

キーワード：国語学，言語学，言語政策，国語教育，国語施策，コーパス，語彙，漢字

## 1. 研究計画の概要

(1)国語施策と国語教育の分野に、コーパスを本格的に導入することで、新しい研究領域を開拓する。特に、語彙と漢字を取り上げ、コーパスを用いた語彙表・漢字表を作成し、これを活用した研究を展開する。

(2)研究の共通データとして、①領域全体で作成する「現代日本語書き言葉均衡コーパス」に基づく語彙頻度表・漢字頻度表、②小中高등학교で使われている検定教科書の全学年全教科の教科書のコーパスとその語彙頻度表・漢字頻度表を作成し、その活用法を研究することを通して研究を実践する。

## 2. 研究の進捗状況

(1)2006年度：研究の全体計画を構築し、言語政策に役立つ語彙表・漢字表の具体的設計と、検定教科書コーパスの設計を行った。

(2)2007年度：「現代日本語書き言葉均衡コーパス」の書籍部分を用いて作成した語彙頻度表をもとに、語彙レベルを設定し、分野特徴度を算出した。また、検定教科書コーパスの作成を進めた。

(3)2008年度：「現代日本語書き言葉均衡コーパス」の書籍部分を用いた語彙レベルと分野特徴度を含む語彙リスト、および教科書コーパスによる中学校教科語彙リストを作成した。二つの語彙リストを突き合わせて、国語政策・国語教育に役立つ語彙リストを数種試作し、政策や教育の実践上で活用する方向を

研究した、漢字総合頻度表の作成によって漢字研究の基盤整備を進めると同時に、文化審議会国語分科会漢字小委員会にデータを提供し、「常用漢字表」見直しの審議に貢献した。なお、作成した語彙表の一部を公表した。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

研究の共通データの作成は予定通り進んでおり、これを活用した研究も、国語施策・国語教育の両分野において、語彙・漢字の双方の側面から、多角的に進めることができています。

## 4. 今後の研究の推進方策

(1)これまでに作成したコーパスと語彙頻度表・漢字頻度表をもとに、研究目的に応じた種々の語彙リスト・漢字リストを作成し、これを活用した研究の展開を重点的に進める。

(2)国語教育の分野でコーパスを活用した研究を進めるには、国語教師との共同研究が有効であると考えられる。国語教師を対象としたワークショップを企画するなどして、現場教師に役立つコーパス活用方法について、探索を進め、国語教育分野での研究の展開に力を入れる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線, 点線下線は研究協力者)

[雑誌論文] (計 8 件)

- ① 鈴木一史「文例参照による敬語の指導」『東京大学教育学部附属論集』52, pp. 101-108, 2009 年, 査読無
- ② 鈴木一史「漢字の読み書き問題の通過率に影響を及ぼす要因について—中学三年生の調査をもとに—」『解釈』638・639, pp. 9-17, 2008 年, 査読有
- ③ 近藤明日子・田中牧郎「学校教科書の語彙—語種を観点として—」『日本語学』27-10, pp.26-35, 2008 年, 査読無
- ④ 鈴木一史「国語教育における『語彙』指導」『日本語学』27-10, pp. 16-25, 2008 年, 査読無
- ⑤ 小椋秀樹・相澤正夫「現代雑誌 70 誌における漢字の使用実態と常用漢字表—国語施策へのコーパス活用に向けた基礎調査—」『日本語科学』22, pp. 125-146, 2007 年, 査読有
- ⑥ 鈴木一史「教科書コーパスによる国語科学習語彙の選定方法の検討」『東京大学教育学部附属論集』51, 2007 年, 査読無
- ⑦ 棚橋尚子「漢字学習におけるルビの有効性」『奈良教育大学国文—研究と教育—』30, pp. 77-89, 2007 年, 査読無
- ⑧ 田中牧郎「学習用漢字辞典と常用漢字表」『日本語学』25-11, pp. 204-213, 2006 年, 査読無

[学会発表] (計 11 件)

- ① 近藤明日子「中学校教科書の教科特徴語の抽出と考察—『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の語彙との比較から—」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 20 年度公開ワークショップ (研究成果報告会) 予稿集』pp.117-122, 2009 年
- ② 斎藤達哉「コーパスを用いた公共性の高い文章における表記改善への視点」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 20 年度公開ワークショップ』pp.109-116, 2009 年
- ③ 田中牧郎「語彙政策とコーパス—医療用語を例に—」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 20 年度公開ワークショップ』pp.191-198, 2009 年
- ④ 相澤正夫・小椋秀樹「白書コーパスに基づく常用漢字の使用実態調査」『社会言語科学会第 21 回大会発表論文集』pp.206-209, 2008 年
- ⑤ 相澤正夫・斎藤達哉・小椋秀樹「常用漢字表の見直しに役立つ漢字表の作成と提供」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 20 年度全体会議予稿集』

pp.121-128, 2008 年

- ⑥ 金愛蘭・桐生りか・近藤明日子・田中牧郎「『一般向け専門用語』抽出の試み—医療用語を例に—」『日本語学会 2008 年度春季大会予稿集』pp.199-206, 2008 年
- ⑦ 近藤明日子「中学校教科書の教科別特徴語の抽出—理科を例として—」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 19 年度公開ワークショップ (研究成果報告会) 予稿集』pp.181-186, 2008 年
- ⑧ 田中牧郎・金愛蘭・桐生りか・近藤明日子「コーパスによる難解語・重要語の抽出—医療用語を例に—」『社会言語科学会第 21 回大会発表論文集』pp.296-299, 2008 年
- ⑨ 田中牧郎・近藤明日子・平山允子「均衡コーパスに基づく語彙のレベル分け」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 19 年度公開ワークショップ (研究成果報告会) 予稿集』pp.27-32, 2008 年
- ⑩ 鈴木一史「国語教育と語彙指導」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 18 年度公開ワークショップ (研究成果報告会) 予稿集』pp.165-174, 2007 年
- ⑪ 棚橋尚子「漢字習得調査に見られる問題点の整理」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 19 年度全体会議予稿集』pp.103-106, 2007 年

[図書] (計 3 件)

- ① 杉戸清樹・田中牧郎・相澤正夫ほか 25 名『病院の言葉を分かりやすく—工夫の提案—』(国立国語研究所「病院の言葉」委員会編) 勁草書房, 2009 年
- ② 田中牧郎・相澤正夫・斎藤達哉・棚橋尚子・小椋秀樹・鈴木一史・近藤明日子・平山允子・金愛蘭・桐生りか『特定領域研究「日本語コーパス」言語政策班中間報告書 言語政策に役立つ, コーパスを用いた語彙表・漢字表等の作成と活用』pp. 1-291, 2008 年
- ③ 杉戸清樹・相澤正夫・田中牧郎ほか 20 名『分かりやすく伝える 外来語 言い換え手引』(国立国語研究所「外来語」委員会編) ぎょうせい, 2006 年